

法人名	医療法人社団みどりの会 酒井病院
事業所名	小規模多機能ホームさかい

事業所自己評価・ミーティング様式		実施日	2022年11月14日(14:00~15:00)
------------------	--	-----	--------------------------

1. 初期支援(はじめのかかわり)	メンバー	矢野・高橋・田村・田坂・藤井・田中・赤松・鈴木・森澤・井上・三村・大林・福山・西中
-------------------	------	-------------------------------------------

## ◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5人	7人	2人	0人	14人

前回の改善計画	日々のミーティングで情報共有を確実にしない、状態に変化がある場合はカンファレンスにてケアの方向性を統一する。
前回の改善計画に対する取組み結果	1日3回の申し送り状況や情報の共有が出来ており、連絡ノート等でも情報の共有をしている。状態に変化がある場合も、職員間で共有し家族にも適宜連絡し対応ができています。

## ◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	6	6	2	0	14
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	2	11	1	0	14
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	7	6	1	0	14
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	5	7	2	0	14

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>利用前にアセスメントし、ニーズの聞き取りを行うことでサービス内容が調整できている。また、利用開始直前には、個人ファイルや申し送りノートを記入し情報共有している。</p> <p>本人が慣れていない時期は積極的にコミュニケーションをとり、不安の軽減に努めている。</p> <p>家族とは送迎時の会話や連絡帳にて関係づくりが行えている。</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>申し送り等で情報共有するが、全職員が出勤ではない為伝えきれていない場合がある。</p> <p>伝達の情報だけではわかりにくいことがある。家族様となかなかお会いできない方は関係づくりが不十分。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>日々の申し送りや連絡ノートで情報共有をおこなう、決定や検討事項を職員間で共有できるツールを使用する。</p> <p>本人・家族の不安を軽減させるため、家族とのコミュニケーションをしっかりと行い、家族と会えない場合は連絡ノートに小まめに様子を記載するなど、より良い関係づくりをおこなう。</p>	

事-①

事業所自己評価・ミーティング様式		実施日	2022年11月14日(14:00~15:00)
------------------	--	-----	--------------------------

2. 「～したい」の実現(自己実現の尊重)		メンバー	矢野・高橋・田村・田坂・藤井・田中・赤松・鈴木・森澤・井上・三村・大林・福山・西中
-----------------------	--	------	-------------------------------------------

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	12人	2人	0人	14人

前回の改善計画	
ケアプランや小規模多機能計画書のモニタリングを行ない、職員全体で改善点や支援の方法を検討する。日々の関わりの中から、「～したい」を見つけ出し、実行の方法をミーティングで話し合う。	
前回の改善計画に対する取組み結果	
計画書の作成担当職員を決めてから、一人一人の目標やケアプランの把握ができ、ミーティングをする機会も増えた。モニタリングの際は職員で意見を出し合っており、日々の生活でどんなことがあったかの情報共有ができています。	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	2	6	5	1	14
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	1	6	6	1	14
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	6	7	1	14
④	実践した(かかわった)内容をミーティン	3	8	2	1	14

	<p>グで発言し、振り返り、次の対応に活かせていますか？</p>					
--	----------------------------------	--	--	--	--	--

<p>できている点</p>	<p>200字程度で、できていることと、その理由を記入すること</p>
<p>部署会議で情報を共有して、一人一人の関わり方や支援の方法を確認し、改善点や新たな問題点の話し合いができている。介護計画書の見直しも行ない、目標の確認や達成状況などの評価を行い次の目標に活かしている。</p>	

<p>できていない点</p>	<p>200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること</p>
<p>利用者担当制で、自身が担当している利用者の目標は把握しているが、その他の利用者の目標把握が不十分。 目標が決まり取り組みを開始しても日々の振り返りを行うなど継続して関わることができていない、普段からもっと個人ファイルに目を通す習慣をつけ把握する必要がある。</p>	

<p>次回までの具体的な改善計画</p>	<p>(200字以内)</p>
<p>職員全員が利用者の目標の把握し、モニタリングを行う。日々のミーティングで目標に沿った意見を出し合える環境をつくる。</p>	

事一②

事業所自己評価・ミーティング様式		実施日	2022年11月14日(14:00~15:00)
------------------	--	-----	--------------------------

3. 日常生活の支援		メンバー	矢野・高橋・田村・田坂・藤井・田中・赤松・鈴木・森澤・井上・三村・大林・福山・西中
------------	--	------	-------------------------------------------

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4人	9人	0人	1人	14人

前回の改善計画	新たに知り得た情報はミーティング時に職員間で共有し、アセスメントシートに追加記録することで情報を集約し、生活歴やご本人の思いを知るツールとして活用する。
前回の改善計画に対する取組み結果	1日3回の申し送りの際に情報共有し、ケアの内容が検討できたことにより体調に合わせた介助が即時に実施できた。意思疎通が困難で、家族様とも交流が希薄な方は、アセスメントシートでの情報しか得られず、情報が更新されていないため、本人の思いや生活歴の把握が難しかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	1	3	8	2	14
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	3	9	1	1	14
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	1	8	4	1	14

④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	3	10	1	0	14
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	1	10	3	0	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>新たに知り得た情報は、1日3回の申し送り時に共有できている。本人の状況、食事や入浴・排泄に関しても、適宜柔軟に対応できている。</p> <p>対応や介助方法の変更については、申し送りノートに記載し、出勤時には必ず確認している。</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>「以前の暮らし方」10個以上の理解は利用者により差がある。コミュニケーションにより聞き出しにくい方おり工夫が必要。ヘルパーや送迎がない方や、連泊が多いご利用者様は家族と話すことが無いので、自宅での生活スタイルが詳しく分かりにくい方がいる。聴かれて嫌な思いをする事があるかもしれないと思うと聞き難い事がある。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>利用者担当制となっているので、担当職員が以前の暮らしを聞き取り、職員間で情報共有する。</p> <p>継続として、新たに知り得た情報はミーティング時に職員間で共有し、アセスメントシートに追加記録することで情報が集約でき、生活歴やご本人の思いを知るツールとして活用できるようにする。</p>	

事-③

事業所自己評価・ミーティング様式		実施日	2022年11月14日(14:00~15:00)
------------------	--	-----	--------------------------

4. 地域での暮らしの支援		メンバー	矢野・高橋・田村・田坂・藤井・田中・赤松・鈴木・森澤・井上・三村・大林・福山・西中
---------------	--	------	-------------------------------------------

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	4人	7人	3人	14人

前回の改善計画	集まって行う活動が困難になっているため、地域との関わりが途切れないような活動の方法を運営推進会議などで検討し、実行していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	新型コロナの影響もあり、地域との関わりが持てなかったが、運営推進会議の場で地域の情報を確認し参加の為に計画もする事が出来た。地域のイベントが再開したため少数からの参加ができている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	1	7	5	1	14
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	1	4	8	1	14
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	8	5	1	14
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	1	1	10	2	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>家族様に家での様子などを聞き取り何か問題はないか確認している。自宅と施設での様子を共有することで、自宅での生活スタイルを維持・継続できるように支援した。</p> <p>本人・家族の関係や在宅生活を考えて、負担軽減につながるよう考えている。</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>新型コロナの影響で、大勢で集うイベントが減ってしまった事、また以前行っていた小規模でのティーサロンやハーモニカ演奏などが無くなってしまった。秋頃からは、地域のサロンに少人数から参加することが出来る。</p> <p>一般職員は、地域資源の把握ができておらず、活用に至っていない。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>利用者が、状況にあわせて地域資源を使用し、地域・在宅での生活が継続できるように、職員が地域資源の情報を把握できるようにする。</p> <p>地域資源の資料やインフォーマルの情報を共有し、民生委員と協働できる環境も作る。</p>	

事一④

事業所自己評価・ミーティング様式		実施日	2022年11月14日(14:00~15:00)
------------------	--	-----	--------------------------

5. 多機能性ある柔軟な支援		メンバー	矢野・高橋・田村・田坂・藤井・田中・赤松・鈴木・森澤・井上・三村・大林・福山・西中
----------------	--	------	-------------------------------------------

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	4人	3人	6人	14人

前回の改善計画	オンラインを活用し、外部研修に参加する。 社会資源の活用や支援の仕方を研修に参加して学ぶ。
前回の改善計画に対する取組み結果	オンライン研修については、一部のスタッフしか参加できなかった。また、社会資源についての理解や把握が出来ておらず活用が出来なかった。日々の利用者支援に関しては、ミーティングを通して情報共有し柔軟に対応できた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	0	4	4	5	14
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	2	13	0	0	14
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	5	9	0	0	14
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合	3	10	1	0	14

わけて柔軟な支援ができていますか？					
-------------------	--	--	--	--	--

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>1日3回の申し送りの中で利用者の体調変化など情報を共有し、状態に合わせた支援ができています。利用者、家族の希望に応じたサービスの提供ができています。また、急遽のサービス依頼があった際にも、もできるだけの対応は行なっています。</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>地域資源を使っている支援や活用があまりできていない。 「通い」や「泊まり」のサービスの適切な提供については、過剰・不足していることがある。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>地域の資源の活用で利用者の在宅生活がより充実できるように、まずはどんな地域資源があるのかを理解する。</p>	

事-⑤

事業所自己評価・ミーティング様式		実施日	2022年11月14日(14:00~15:00)
------------------	--	-----	--------------------------

6. 連携・協働		メンバー	矢野・高橋・田村・田坂・藤井・田中・赤松・鈴木・森澤・井上・三村・大林・福山・西中
----------	--	------	-------------------------------------------

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	2人	4人	6人	14人

前回の改善計画	介護職・看護職も担当者会議や退院前カンファレンスに参加する機会を作り、関連事業所と連携することで、利用者の状況を把握し適切なサービスの提供に繋げていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	担当者会議や退院前カンファレンスに参加し、関連事業所と情報共有ができています。 コロナウイルスの感染予防の為、会議への参加人数が制限されていた事もあり介護職の参加があまりできなかった。関連事業所との連携は照会文などを活用し行っている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	1	8	2	2	14
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	1	2	8	3	14
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	0	1	6	7	14

④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民					
	が事業所を訪れますか？	0	2	4	8	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>サービス担当者会議に出席し、ご家族の話が聞けた。サービス担当者会議と運営推進会議はコロナの影響で延期したこともあったが、概ね開催できている。その他のサービス機関や病院とは情報交換や連携が図られている。地域のイベント開催時には少人数で少しずつだが参加できている。</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>地域の集いには参加できるようになってきたが、それ以外の運動会やその他活動には参加できていない。見学者を除き、コロナ対策の為登録者以外が事業所を訪れる機会はない。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>楽しみ目的のドライブなどが出来なくなったが、地域イベントに参加という形での外出を検討していく</p>	

事-⑥

事業所自己評価・ミーティング様式		実施日	2022年11月14日(14:00~15:00)
------------------	--	-----	--------------------------

7. 運営		メンバー	矢野・高橋・田村・田坂・藤井・田中・赤松・鈴木・森澤・井上・三村・大林・福山・西中
-------	--	------	-------------------------------------------

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4人	10人	0人	0人	14人

前回の改善計画	
苦情があれば、ミーティングや申し送りノートで周知し、再発防止策の提案ができる環境を作り、職員全員で改善策を検討していく。	
前回の改善計画に対する取組み結果	
苦情について職員間で周知し、ミーティングで改善策を話し合っている。意見を言う機会もありスタッフ間で相談しやすい環境づくりが出来ている。	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	3	10	1	0	14
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	4	10	0	0	14
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	10	2	1	14
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	0	3	6	5	14

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>職員間では、立場関係なく話しやすい環境ができており、意見交換がしやすい。          利用者・家族からの苦情に対して、すぐにミーティングなどで内容共有し、再発防止に努めている。          また、運営に反映していけるように努める事ができている。</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>地域との関わりがコロナの影響で減少している為、意見などを聞く機会が減っている。          地域と協働した取り組みが出来ていない。          コロナの影響もあり積極的な関わりが難しく協働して行える取り組み内容がない</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>まずは小規模多機能の事業所を知って頂く為に、地域活動への参加を積極的に行っていく。</p>	

事-⑦

事業所自己評価・ミーティング様式		実施日	2022年11月14日(14:00~15:00)
------------------	--	-----	--------------------------

8. 質を向上するための取組み	メンバー	矢野・高橋・田村・田坂・藤井・田中・赤松・鈴木・森澤・井上・三村・大林・福山・西中
-----------------	------	-------------------------------------------

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	5人	5人	4人	14人

前回の改善計画	外部研修に、職員が最低1回は参加できるように環境を整える。 ヒヤリハットを積極的に提出し、インシデント・アクシデントに繋がらないように取り組む。
前回の改善計画に対する取組み結果	内部研修に関しては参加できているが、外部研修はコロナの影響や慣れないオンライン研修となり参加ができなかった。 インシデント・アクシデントレポートに関しては、月に1度の職場内会議で事故を分析し、再発防止に努めている。ヒヤリハットが積極的に提出できている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	0	8	3	3	14
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	0	1	3	10	14
③	地域連絡会に参加していますか	0	1	3	10	14

④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	2	6	4	2	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>インシデント・アクシデントに関してはすぐに周知し、再発防止のため意見交換ができている。また、月1回の職場内会議で必ず話合っている。ヒヤリハットも積極的に記入ができている。</p> <p>職場内の研修は、職員が持ち回りで勉強会を開催しており、レポートも提出できている。</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>外部研修は、アナウンスを行っても参加者が少ない。地域連絡会には、一般職員の参加ができていない。</p> <p>休日などに仕事外で積極的な研修への参加が出来ていない</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>職員が興味があるオンライン研修に参加ができるように、情報提供や業務環境を整える。</p> <p>ヒヤリハットを積極的に提出し、インシデント・アクシデントに繋がらないように取り組む。</p>	

事-⑧

事業所自己評価・ミーティング様式		実施日	2022年11月14日(14:00~15:00)
------------------	--	-----	--------------------------

9. 人権・プライバシー		メンバー	矢野・高橋・田村・田坂・藤井・田中・赤松・鈴木・森澤・井上・三村・大林・福山・西中
--------------	--	------	-------------------------------------------

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	9人	5人	0人	0人	14人

前回の改善計画	
ミーティングやカンファレンス時には、利用者が特定されないように配慮する。 写真なども含めて個人情報の保護に努める。	
前回の改善計画に対する取組み結果	
プライバシーに関しては、申し送り時に個人名を出さないように努めることができた。 ホームページでのイベント紹介を開始しているが、個人情報に注意して掲載している。	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	4	9	1	0	14
②	虐待は行われていない	11	3	0	0	14
③	プライバシーが守られている	7	5	2	0	14
④	必要な方に成年後見制度を活用している	1	2	4	7	14

⑤	適正な個人情報の管理ができています	7	7	0	0	14
---	-------------------	---	---	---	---	----

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>プライバシー保護は徹底しており、申し送り時も名前で伝えず、番号やイニシャルで伝えるようにしている。</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>成年後見制度が必要な方がいない為、活用はできていない。 職員が手薄になったときなど、スピーチロックが見られる。申し送りの際は、個人情報を意識できているが、普段の会話の中では、利用者の名前が出ている事がある。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
---------------	----------

事-⑨

<p>スピーチロックでの対応をしてしまった際にもできる限り早くの対応を心掛ける。 観察や適宜対応する事で、身体拘束やスピーチロックに至らないように対応していく。</p>
------------------------------------------------------------------------------------------

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	医療法人社団みどりの会酒井病院	代表者	長谷川 麻衣子	法人・事業所の特徴	利用者様・ご家族様に最大限活用して頂けるよう、時間延長サービス等を柔軟に受け入れ、医療法人が運営していることから、医療必要度や介護度の高い利用者様の受け入れも実施している。また、通いサービスにおいて、利用者様と職員が様々な行事を通して関わりを多く持つことで、馴染みの関係を築くことを目的に全体で取り組んでいる。
事業所名	小規模多機能ホームさかい	管理者	矢野 康行		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	0人	2人	0人	1人	1人	0人	14人	0人	18人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	日々のミーティングで情報共有を確実にし、状態に変化がある場合はカンファレンスにてケアの方向性を統一する。	1日3回の申し送りで状況や情報の共有が出来ており、連絡ノート等でも情報の共有をしている。状態に変化がある場合も、職員間で共有し家族にも適宜連絡し対応ができています。	事業所内の事は目にするのが無いので、評価シートでの確認になるが、自己評価が高いので頑張っていることが分かった。	引き続き、申し送りと部署会議を行うことで利用者の情報やニーズを共有し、共通認識を持つことで統一感のあるケアを実施する。
B. 事業所のしつらえ・環境	小規模多機能の機能訓練室に陰圧装置を設置。引き続き、感染予防対策を行い、安心して利用できる環境をつくっていく。	コロナウイルス感染拡大予防もあり、小規模としては運営推進会議の開催での利用でしか陰圧室をして頂けなかった。毎日の清掃で環境整備はおこなえた。	推進会議でしか訪問がなかったが、清掃されており、環境は開かれたものとなっている。事業所が入り込んだところがあるので知らない人には分からない。	小規模多機能の機能訓練室に陰圧装置を設置。引き続き、感染予防対策を行い、安心して利用できる環境をつくっていく。
C. 事業所と地域のかかわり	陰圧装置が設置してある室内にて、感染予防を行いながら講演会や交流など地域の方と一緒に取り組んでいく。	今年度も、集合イベントの開催が困難な為、事業所での地域交流の機会がほとんどなかった。近隣開催の地域イベントには参加できている。	地域の交流会のイベントに参加する事で、事業所内のみでなく近隣住民の方との交流の場を確保できている。今後夏祭りや餅つき等のイベントが再開できればよい。	職員と地域の方との関わりを持てるように、講演会や地域イベントに参加し地域の方との交流ができる環境を作っていく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	感染対策を行いながら、参加できるように体制を整えていく。	コロナの影響で中止となっていた地域のイベントが再開した為、感染対策をしながら参加できた。また、フルーツガーデンで行ったイベントには参加することができた。	コロナで中止となっていたイベントが少しずつ再開している。地域イベントに参加して頂きたい。	利用者が事業所から出ていき講演会や地域イベントに参加することで、地域の方との関わりが持てるように、参加の機会を検討していく。

E. 運営推進会議を活かした取組み	地域と情報交換を行うなかで、事業所としてどのように関わることができるか共に考えていく。	コロナの影響により、2回程運営推進会議を延期した。コロナ禍での事業所、地域での取組みを共有できた。	地域でのイベント開催の情報共有をし、参加出来そうなイベントの検討も出来た。また参加時の場所やタイミングも調整できた。	地域と情報交換を行うなかで、職員・利用者がどのように地域との関わりができるか共に考えていく。
F. 事業所の防災・災害対策	防災訓練の際に地域の方にも参加して頂くことで、有事の際にスムーズに連携が図れるようにする。	コロナの影響もあり、地域の方を含めた訓練が実施できなかった。	今年度は地域でも防災研修や集合しての訓練の開催が難しかったので、最低人員での実施となった。災害時高齢者施設で近隣の住民の受け入れが可能となるのか、分からない。	年に2回の防災訓練を通して、日頃から災害対策への認識を高めておく。また近隣住民との相互連携についても検討していく。